

20

20

20

18

# NOTE BOOK

19. 10. 6

S

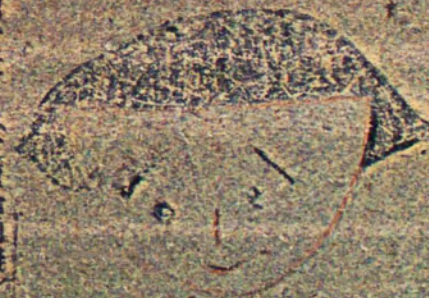
19. 11. 30.

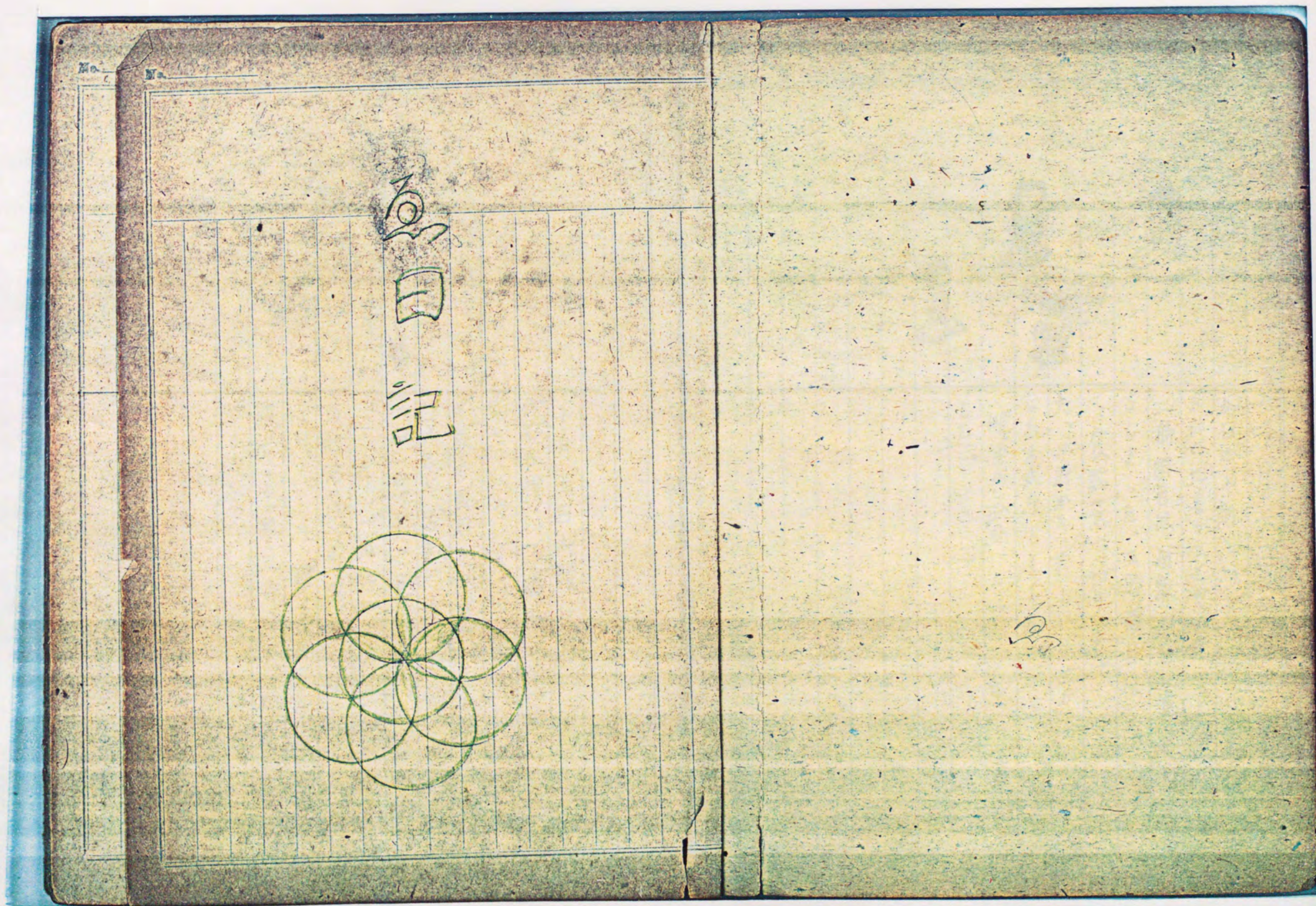
10. 11. 10

22

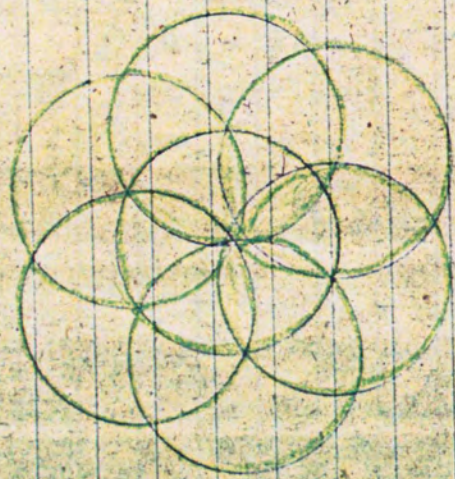
B  
フ  
ー  
ル  
ス  
48  
正  
四十枚

(定價拾四圓)  
①





日記



十月六日 金曜日 雨曇

今日から新しい毎日記です。これも  
き北に書かうと思ひました。

一時間目は、分數のたし算と引き算  
をしました。五時間目は、おさのほう  
で、食器袋を作りあげてしまひまし  
た。三時から新しい先生がおはりに  
なるお式をしました。

晩おき玉や、トランプをして遊びま  
した。



十月七日 土曜日 雨

今日も續いて雨降りです。

また、いりやになつてしまひました。

午後、お風呂からあがってお部屋に歸つ

て見ると、お話とお歌の會をしました。

ておたので、すぐ見ました。片山先生の

ごうだんでした。その次が、お歌の先生

の総括でした。みんなとてもおもしろ

いでした。晩といとう先生が、お座

敷を、お話におつしたのです。すぐ

しました。



十月八日 日曜日 晴風

今日は、大掃除 戴い日です。

三・五年の面會日です。私たちは

滿洲の兵隊さんへお手紙を書いた。

お書は、ふくじんづけでした。

午後お手紙が書けてから、お手

玉や、トランプをしたりして遊び

ました。



十月九日 月曜日

三時間に、おさんぽに行つて、す

すきや、おれもこい、おどみ、ぐみ

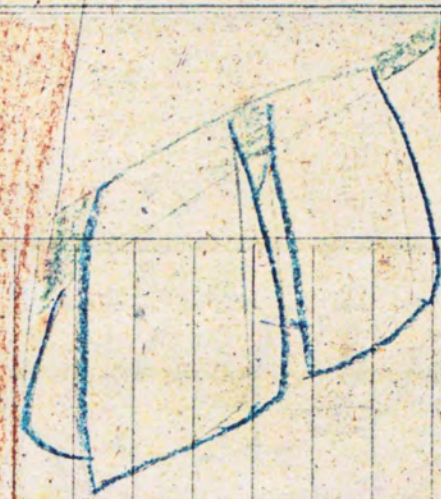
ったの赤い葉などを取りました。

午後ふとん干をしました。

それから、お草の茎をむきました。

た。三十本して、から、岩田さんと

いっしょにおきました。



十月十日 火曜日

今日は、頭が痛いので、八平分廠へ行かないで、こちらへかこりました。ようして自分のところのせいとんをしてから、圖師さんや、船村さんのところへきたなくなつておたので、そのせいとんをしまった見れから、お外へ出て、みんものかへつて来るのを待つて、本を讀んでおました。ほかのくすか歸つて来たので、すぐ、食器を並べました。

午後から、お洗濯をしました。

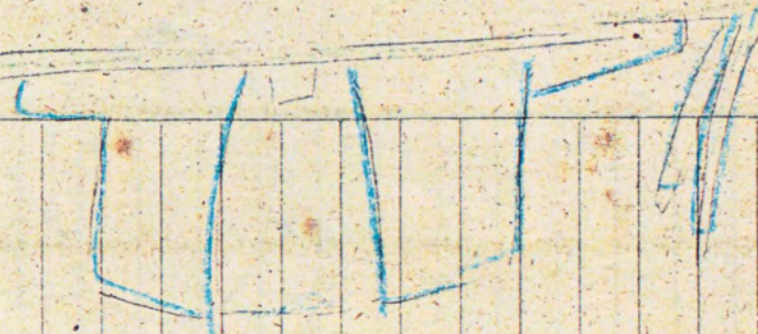
どうもありがたう

十月十一日 火曜日

一時間目は、作文を書きました。午後から、体重測つたに行きました。一キロぐらいふえたので、とてもうれしかったです。かへつてから、お足と手を洗つて、お風呂してから、おやつに、パンを四つづついただきました。ました。ちぎるときは、かたいですが、口の中に入れると、とても甘かったです。

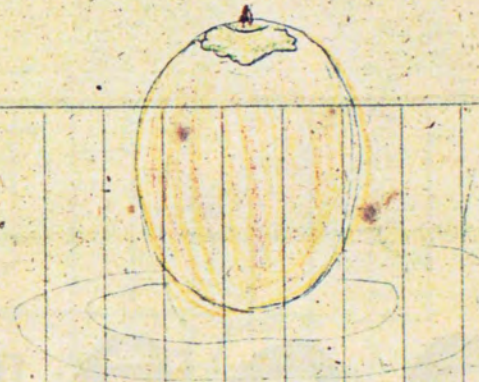
甘

おハッパよくあつたのーいわね



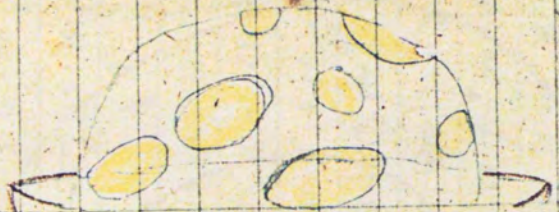
十月十二日 木曜日

今日は午後から神明神社へ行軍しました。あうふう二里ぐらいたそうです。私と、高島さんと、高橋さんと、岩田さんとで風をひいてゐるので、こちらに残りました。お寺王や、普を返へや、いろいろな事をしてゐると、みんなかへって来ました。それからあやふに柿をいただきました。とてもおいしいでした。晩九時かへをしてあふびました。坂口さんとりました。



十月十三日 金曜日

三時四十分におひけんを返していただきました。それから燕はどこへ行くのかんさうを尋ねました。今日は、残りゆう組が来ました。学校へ行った時の事を思ひました。あやふにパンをいただきました。とてもおいしいです。晩の二時は、さつまいもがはいってゐました。とてもあまくておいしいでした。岩田先生がいらしたので、さうさう、晩すけさんかんとどろ様のお話を聞いていただきました。今日は、有が先のおとなりになりました。



の女を  
にね

十月十四日土曜日

今日は朝からおとこを数いねた。  
高島さんとお橋さんと岩田さんと  
とでねた。おとう前にも有が先生がいら  
していらした。そうして、おしぎな囃子と  
いふお話を讀んでいただきまいた。  
それから、焼き栗を少しづついただき  
た。  
おやつには、堅パンを四ついただきました。  
おすけりしも、もくとうをしてから、  
おとこへは、いっていただきまいた。



十月十五日日曜日 面會日

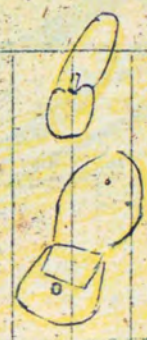
今日は、うれしい面會日

今日は、大さうじで、十時からだ、一番に、いっし  
やったのは、高島さんだ。お玉様は、五六番にい  
らした。今日は、お兄様も、お姉様もいらした。し  
つたので、とてもうれしかった。午前中は、いっしをかへ  
まり事に、お兄様と、お姉様と、おとうさんと、お話を  
したり、おしぎな囃子を見せたりいただきたりしま  
した。

午後から、いっしをかへたり、お前をつけたたり、  
おるいをかへたり、いっしかなことをしました。  
かさをかへて、いっしをかへたり、お玉様と、  
お兄様と、お姉様と、おとうさんと、遊びました。

おやつは、おしぎな囃子のほか、かたいた、さつまいもを二つ  
づついただきました。

お玉様が、見てゐると、おとこさんでもたべてゐるみ  
たいたね。とおっしゃった。



お八つがすむともう知りないうちに  
お母様がなかへりになつてゐた。  
それから、あみさんとお別れなので、みん  
な別れをいふので、お別れの御あいさつを  
した。晩トランプをして遊んだ。  
今日は、いつもの面會よりうれしかった。

大本營發表

昭和十九年十月十六日十五時

車庫裏沈

十隻

戦艦

二隻

巡洋

三隻

駆逐

七隻

空母

三隻

戦艦

一隻

巡洋

四隻

戦艦

不詳土隻

合計三十五隻

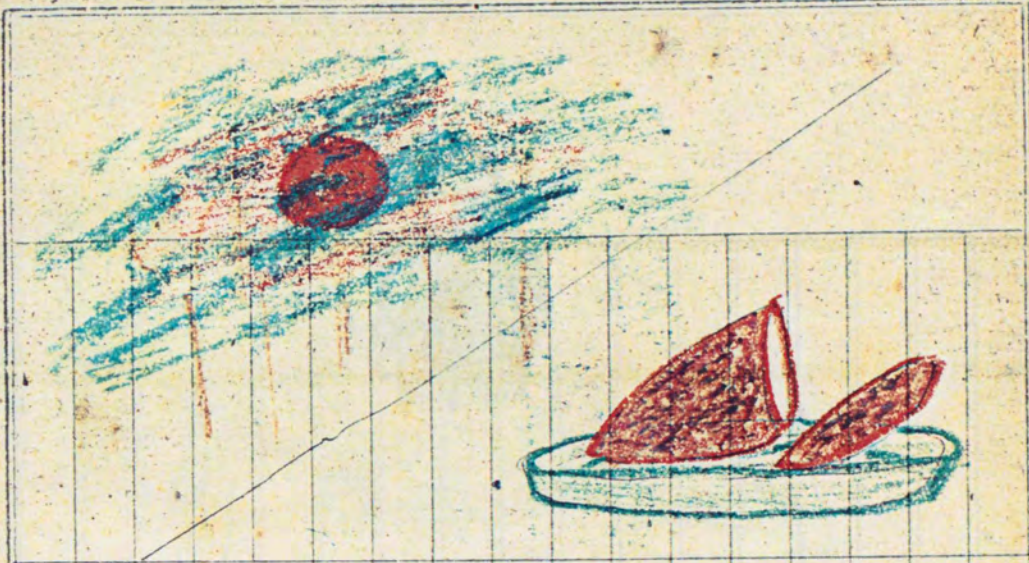


真破

大日本帝國

バーザイ

十月十六日月曜日  
楽しい面會日もをはって、今日は  
月曜日です。  
二時間目は、大さうじをして、  
から、芋のようへい取りをしました。  
百本ぐらいいました。  
三時間目は、頭が痛かったのでけん  
けんしました。  
午後から文部省の方々があ見え  
えになりました。  
三時に、大本營發表が  
ありました。とても大戦果でした。  
おやつのおいしさをいってゐる  
途中で、大日本帝國萬歳といつて  
みんなで萬歳をとなへました。  
昨日とちがうついで大戦果でした。  
夕飯の時、夕日がとてもうつ



くしくてきれいでした。  
 明日もきりと晴れたなと思ひま  
 した。

十月十七日火曜日



今日は、神嘗祭です。朝會の時  
 弘田先生が、のりとを讀んで下さ  
 いました。それから、喜門先生が  
 神なめ祭のお話をして下さいま  
 した。午前中は、病氣じゃな  
 い人は、みんな、体操大會のおけい  
 こをしました。高島さんと、高橋  
 さんと、岩田さんと私は、見物し  
 ました。みんなが、村のか治屋の  
 おゆうぎをしてゐる時、床屋さん  
 をしていただきました。とばかりし  
 ました。

午後からは、楽しい待ちに  
 待ったお話と歌の會がありま  
 した。  
 いつもになくおもしろい



した。

お話と歌の會

司會 喜門先生

一 お話 坂田大先生

二 紙芝居 岩丸大先生

三 歌 近藤大先生

四 〇〇 さい藤大先生

五 〇〇 片山大先生

これだけでした。

とこやさんをしていただくと前に三輪田先生がいっしょだったので、飛びあがって喜びました。

四年

三四年

三年



十月十八日 水曜日 雨後曇

今日は、朝頭が痛めたので、高島さんと、高島さんとおふとんを持って行きました。

お書 御飯の時から起きてお授業をしました。

五時間目は、作業で、二班だけ

ごふじょうのちやうじをしました。

とてもきれいになりました。

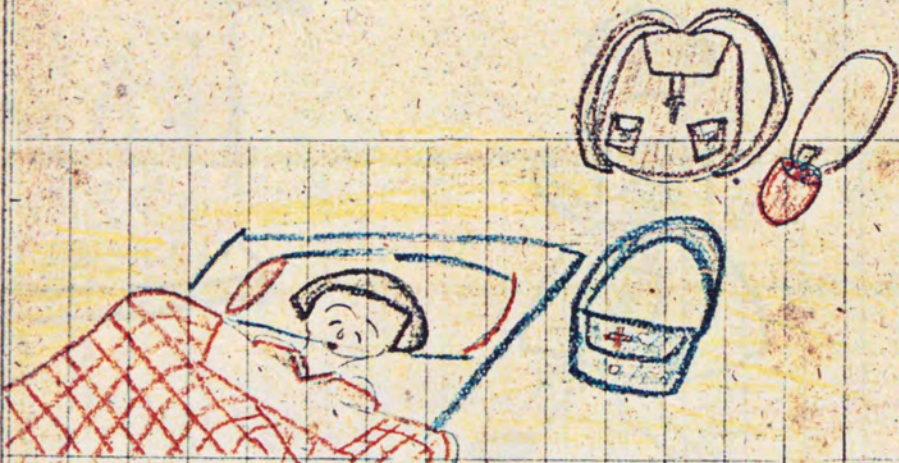
それから各自記を書きました。

おやつは、おいしいおいしい堅パンでもした。いつもと同じやうに四つでした。



十月十九日 木曜日  
三時間目は体操の時間に、  
えんご座のお話をしていたさまり  
た。えんご座といふのは、おさるさん  
の事です。とても面白いでした。  
五時間目に、運針をして、きろ  
くをとりました。  
晩御飯は、すぬさんでしどた  
は、いもりただぎました。  
とてもおいしかったです。あな  
か、いっぱいになりました。

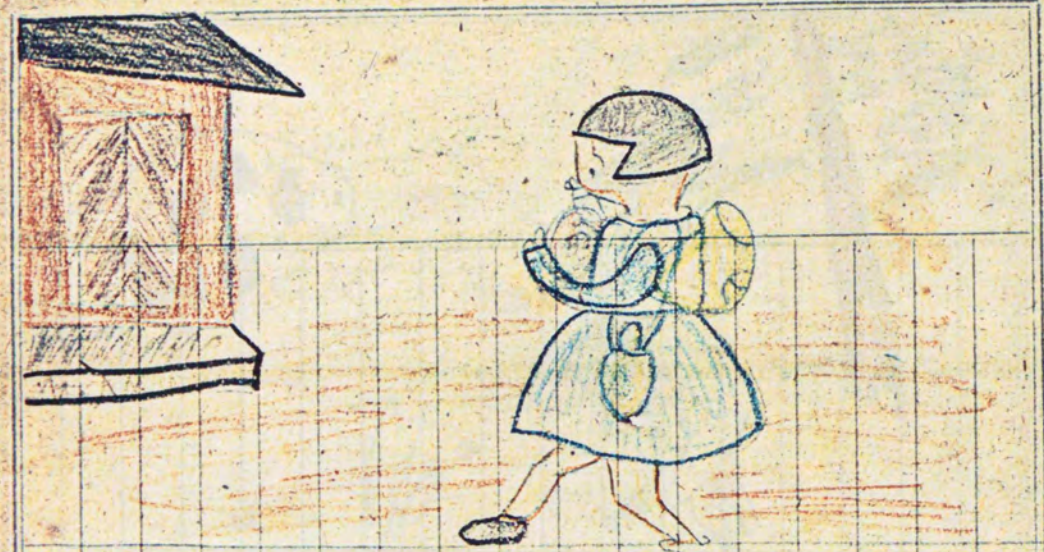
おもしろい絵よくかきました。



十一月二十日 金曜日  
朝御飯の時、新しく取れたお  
米をいただきました。もちもちし  
てとてもおいしかったです。  
理科の時間に、まっ赤な葉を  
取ったり、蒼色な葉を取ったりしまし  
た。  
晩御飯は、昨日と同じのす  
いさんでした。明日は、行軍なの  
で、その用意をして、早く寝まし  
た。なかなか寝つかれませんでした。



十月二十一日土曜日 曇雨晴  
 起きて見ると、まだうすぐらいで  
 す。顔を洗って、御あいさつをし  
 ました。その夜で、今日は、空もようが  
 こんなだから、行くか行かないかわ  
 からないから、用意だけしておき  
 なさい。とおっしゃいました。  
 どうとう雨が降り出しました。  
 午後、後から、からりと晴れたので、  
 つまりませんでした。つまらない日では  
 ありません。ぼに行きました。  
 皆さんがわねもてかせをいりては困るので  
 中止にしますよ。



今日は、三・五年の面會日  
 す。朝、御飯がするでから、女學  
 校の方へおひつ越えしました。  
 ふとん、着返へのふろしき。  
 教科書、などを、三年生の人にお  
 手つたひを、いたたましました。  
 午後から、禮堂所の兵隊さん  
 が来て下さって、音楽をしていただ  
 きました。しゃくはち、パーモニカなど  
 でした。門のところまで送って行き  
 ました。  
 晩新しいお部屋で、仲良しませ  
 うといふので、お話、なやなど、歌の  
 會をしました。藤井、おが、いちゃま  
 の、やが、きき、あ、こうたんをしてい  
 ただきました。とてもおかしくて  
 ふき出してしまいました。

すんでから、高田先生に千代か  
みを玉做づついたたきましました。



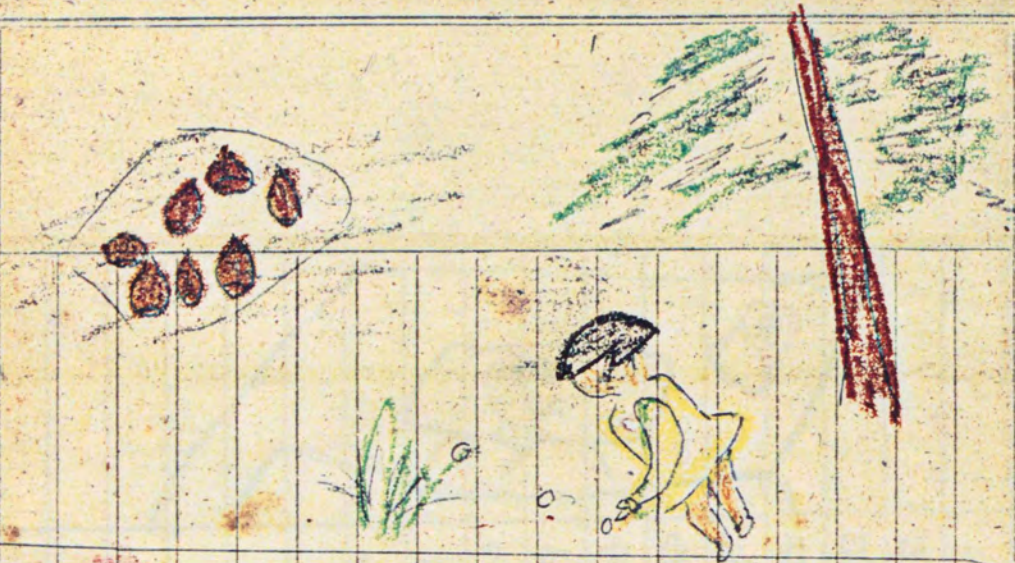
十月二十三日 月曜日

朝御飯の時は内御飯でした。と  
てもとておかしいでした。

午後から、斎場のどん栗一恵拾ひ  
に行きました。

栗をナセと、どん栗六ナぐらい  
拾ひました。

野村さんが、荷物だけを持って、  
いっしょにいました。



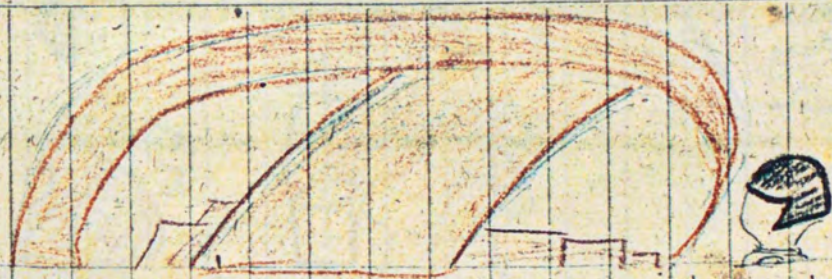
十月二十四日 火曜日

今日からかへしていただいたキ  
さげ袋を使ふので、うれしいや  
うなもったいないやうな気がし  
ました。

午後からたいひくふれんど、  
音楽ゆうぎ会おけいこをしました。

おいもの畠からたいひごうまで  
走ったう、足をくじいてしまひ  
ました。

二十秒で、防空ごうへ着いた  
ので、死んだ事になつてしまひ  
ました。



十月二十五日 水曜日

体操大会待てぬ日です。

疎開学園から、はるばる東京へ

出られるのでとてもうれしかったです。

私たちのいたのは、午前中のけいさう

ゆうぎ。午後はつな引きをけでました。

お昼御飯は、お豆腐、じゃけん。

かぼちゃのおみのお汁でした。おや

つに、パンをいただきました。

ねる時、赤ちゃんといっしょにしまし

た。

このまへより、すてきな絵がふたねいになつた。  
体操大会の様子もよくいふと思ひ出になれ  
てせう。





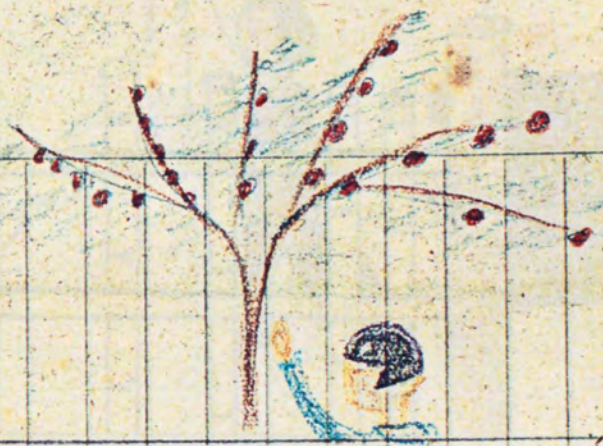
十月二十六日 水曜日 晴  
 今日、午後から、みんなどん  
 栗拾ひに行き、ました。が、一部  
 四年だけ残って、お風呂たきを  
 しました。すうで、から、四師を  
 といしよに、御お浄のおさうじを  
 して、床をきれいにふいたので、先  
 生にほめられました。とてもう  
 れしいでした。  
 おやうに、こつまいものぶかし  
 たの十といただきました。

とてもきれいに、して下さったので  
 先生は本當に、喜んで思いました。

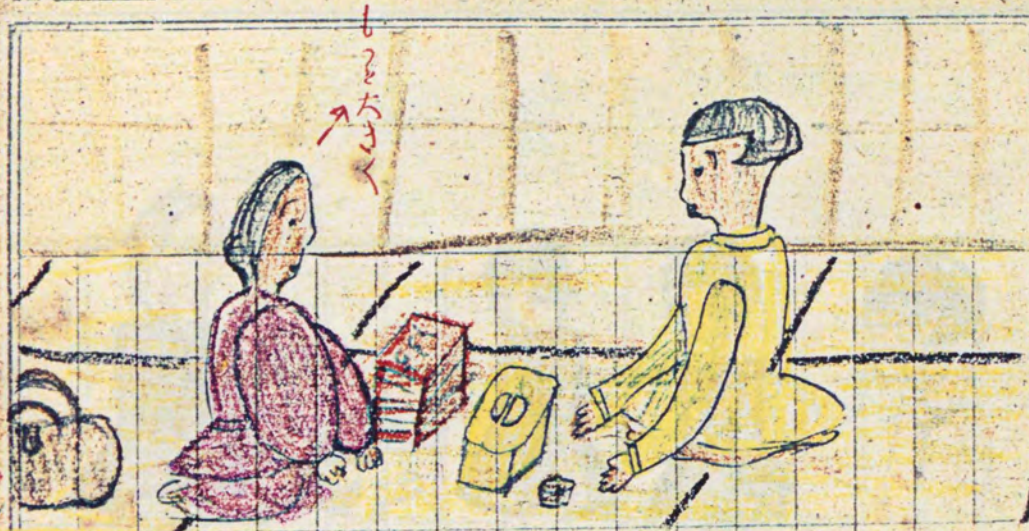


よく似ておます

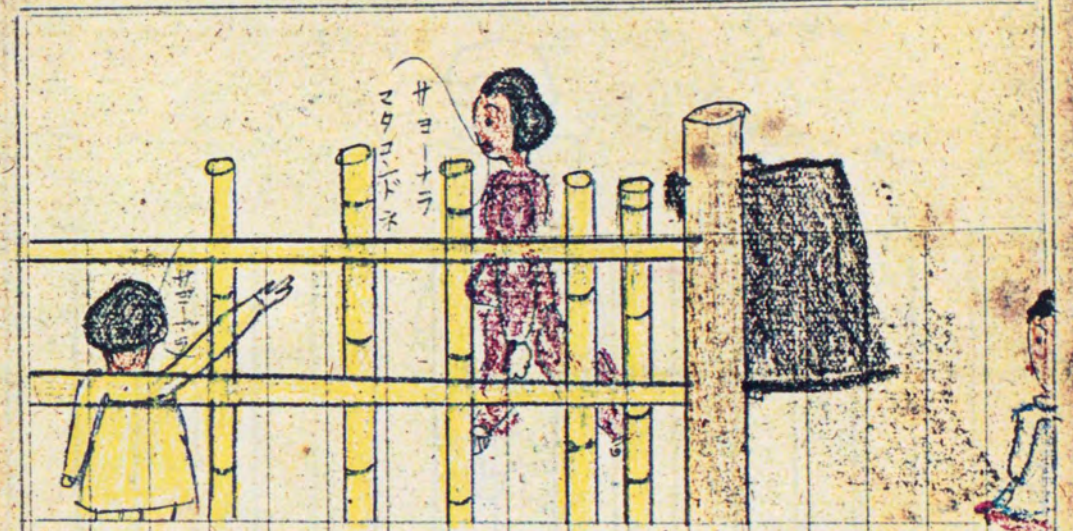
十月二十七日 金曜日 晴  
 五時間目のあま、いほりの時に、  
 先づ、同まはりをはからで、それから、  
 ひざまでの丈をはってから、かた  
 紙を取って、から、きれを切りま  
 した。  
 あやつに、ふかしいものを二つ  
 いただきました。  
 晩六時から七時まで、お話と  
 歌の會があり、本部の麻方へ行  
 きました。一番あとで、やぎぶしを  
 していただきました。  
 紙芝居をたいこのかはりに  
 した。なやったので、とてもおもしろ  
 いでした。



十月二十八日 土曜日 曜  
お晝の御飯の時、お味え汁  
のかほりに、おいもやるとんをいた  
だきました。とても甘くてあ  
いしかったです。  
午後作業の時か間に、三年生  
は紙や、障切北拾ひ、四年生  
は、おげんくねんのおさうじをし  
てから、林の方へ行って、ぐみを取  
っていたいただきました。とてもすっぱい  
のと、甘いのとありました。



十月二十九日 日曜日 晴  
今日はうれしい。国會日。  
待たうに待たうな。面會日です。  
女學校へおさうじをもらに行  
く時、お母様が遠い所に見  
えたのでうれしかったです。  
おさうじが終ったので、すぐ本部  
の方へ行きまわした。女學校の方へ行  
って、着返り物を渡し、いただきま  
わした。  
それから、本部へ又行って、小川  
さんや、お父様へお手紙を書い  
たり、國語の書取や、算数のお  
けんをお見せしたり、お入形  
さんのおふとんなどをお見せし  
たり、八百谷さんからいただいた  
千代紙をお見せしたり、毎日記



をお見せしたりしました。  
午後は、おかへりになるので、お  
持って来ていた、くもの書いた  
紙を渡してお別れしました。  
おやつは、ふかひもでした。

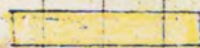
十月三十日月曜日 雨

今日は十月三十日で、教育勅語を  
読んだ日から、五十五年目です。

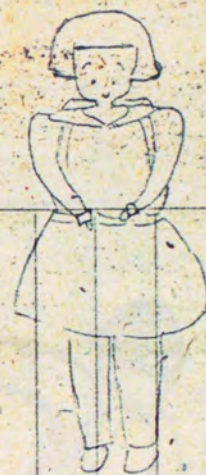
朝會のあとでも式がありました。  
三時、間目にしき島隊の入たち  
の勇しい事のお話をして下さいま  
した。それと、後援者のつづきの  
話を聞いて下さいました。  
とてもおもしろかったです。  
おやつは、さつまいもでした。  
合は、一日中楽しかったなと思ひ  
ました。

孫





月



十月三十一日火曜日晴  
 今日十月の一番最後の日です。  
 図畫の時、きょうを書きました。  
 た。飛行機のもようを書きました。  
 六時間に、雨がふりおちそうに  
 なるので、おすをほそびました。  
 今日から野村さんかいり。あったの  
 で、しよにぬました。  
 晩御飯は、おすおとんどでした。  
 今日は、楽しんでました。

十一月一日 水曜日  
今日から十一月です。一生懸命にしやうと思ひました。

朝會の時、寒氣がしたので、女學校へ行つてぬました。

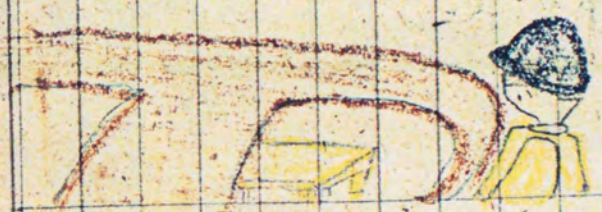
橋井さんと、熊坂さんと、岩田さんと。

高島さんがぬて、いっしょにいました。

みなさん方は、小平分廠へたきぎを  
取りにいらいまゐりました。敵

午後から、さう養所へ行く用意を  
して待つてゐますと、阿部先生が、けい  
かいけい報發とあつたので、すぐ  
女學校へ防空服とうを取りに行き  
ました。

空しゅうけい報發令とおしやつたの  
ですぐ防空ごうへかけ込みました。  
すると少しして、みち、高等科の人



が防空ごうへ五人はいつていらいしま  
した。

それから、電報ごうをしました。

一番おもひかつたのは、

清水のおでぶちゃんが見赤になり  
ました。といふのでした。

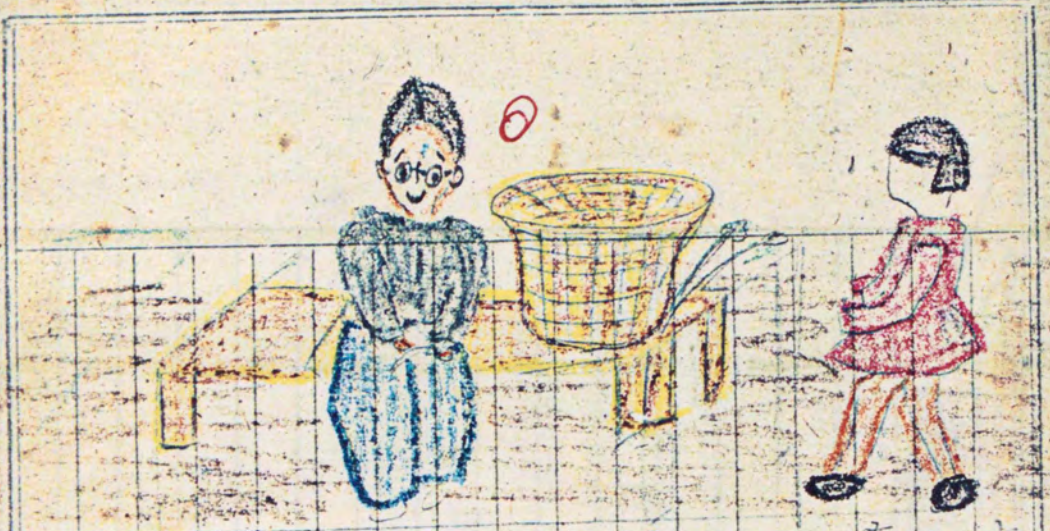
又少しすると、三部二年の人がはい  
つて来ました。みんな、二十二人にな  
つたので、とてもきゆうくつでした。

しばらくで、空しゅうけい報かいじよ  
になったので、おいすを待つて外へ  
出ました。

おやつは、さつまいもでした。

けいけいけい報もかいじよになりま  
した。

晩は、病室の方でぬました。夜中に  
けいけいけい報になるといけなひの



十一日 三日月 不月 日  
午後から、おあいものようへいとり  
をしまりました。  
有賀先生と、船村さんと、船垣さんと、  
船どでいよにもまりました。  
晩八百谷さんや、園新さんのかんひ  
やうをしてゐるなと、げんとうがあ  
るからいへうしやい。で、園見さん  
んがいたので、すぐあひふを着て  
行きました。

で枕本にあってねました。  
許

# 明治節



アトノハニヤ  
ネテワラス  
アヨイヨイ  
ヨイヤヤ

十一月三日 金曜日 雨

今日はお目出たい明治節です。

朝會のあとで、明治節の儀式

をもちました。お話の時明治天皇様が

練り車をお作らせになったと

いふのがありました。

お晝御飯の時、おやつのないか

はりにまつまいもの甘煮がありました。

した。ほんとのきんこんでした。

午後から、實げい會がありました。

演

## 第一部

## 第二部

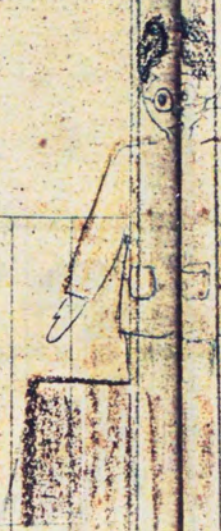
1 石田長先生 ノ喜門大先生

2 八木大先生 2 岩丸お父さま

3 片山大先生 3 すが村先生

4 近藤大先生 4 阿部名入

5 弘田大先生 5 なし先生



これでしたととてもおもしろいでした。

わらってわらってもうのどがいたく  
なっていました。

三時間目に、ボール遊びをしました。  
坂口さんといっしょにしました。おひる御  
飯は、餅米みたいにもちもちとおいしい  
でした。

作業の時、夕學校の先生方の御ふ所  
のおさうじをしました。それから、又遊びま  
した。三時半頃お姉ちやまがおかへりに  
なりました。お父ちやまもお母ちやまも、お姉  
ちやまもないので、お兄ちやまと遊びました。  
晩御飯はライスカレーでした。御飯  
と別にいたただいたので、のどがいたくなる  
ほどがらいでもた。とてもおいしかったです。



十一月五日自暹日雨晴  
三・五年の面會日です。

九時半頃急に「バザー」と思つて「警  
戒警報」が発令になりました。すぐ防空服  
をうになりました。女學校の門を出る  
と、先生が「空しゅう警報發令」とおしやつた  
ので、すぐたひごうへはいりました。  
近藤先生が、水とうどちり紙と、急き  
ゆう箱を渡して下さいました。

ふけいの方々が、四人おはいりになりま  
した。お晝御飯がすまかすまない時  
ジージージージー。といふラジオに、耳を入  
れじと聞きまゐった。けいはいけいはいじ  
よ。といったので、みんなで喜びました。  
おやつは甘酒でした。こんなひ常時に  
いただけるのは有がたいと思ひました。  
今日は何だか、面會日になつたやうに

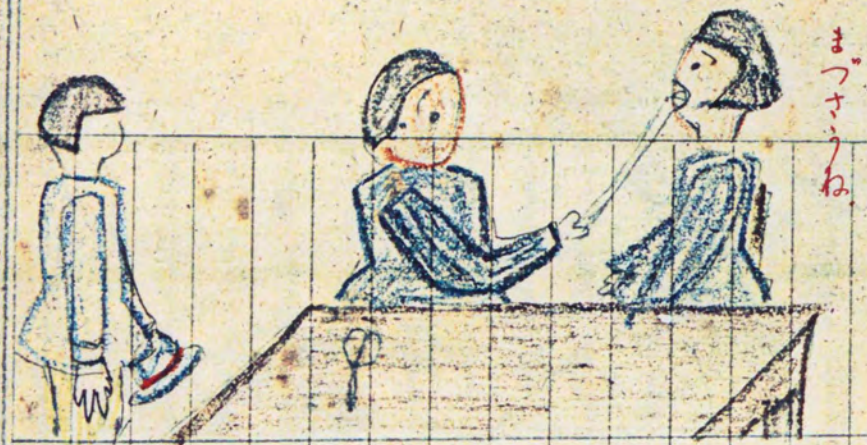


思ひました。  
ねる時、所空服えうを枕本にあい  
てねました。  
『はんせい』  
今度から、あ日記を、おやつ日記にしない  
やうにしようと思ひました。

十一月六日月曜日

朝會がすんで手もどこもいたくな  
い人は、八平が廠へたきぎ取りに  
行き、私は、女學校へ行かうとする  
と、警戒隊が發令になりました。

一時間目は、高田先生に、岡國を越へ  
てを讀んでいたが、ききました。  
とてもかはいさうなお話でした。  
午後から、れうえう所へ行きました。  
た。のどに黒いおくすりをぬ  
られてしまひました。へんな顔を  
したので、笑はれてしまひました。



ハレタニホニコアヲダラ  
ネラフテ、キハチマオエダ  
キタラタタクゾ  
エルガタモ、  
コモレジュウ、モゼニセニダ  
イマダキンパリ、リカイダ、リカイ  
スヌマソカイハカッタマダ



十一月七日火曜日  
一時間目は國語の時、四大連から  
の、お手紙のおへんじを、書きま  
した。二時間目は算数のおしけ、あ  
りました。四時間目にお風呂へ行  
かうとする、ジョー、ジョー、けた  
たましい、ダダオ、ふと足をとめると  
「空しゅうけいほう、發令」と聞えま  
した。すぐ、おいすを運んで防空、こ  
うへ、身を防ぎました。先生が敵機  
が飛行機雲の先におるとおっしゃ  
いました。

十一月八日火曜日  
今日は、大詔奉たい日です。朝會が  
あつて、お武がありました。  
一時間目に北支にいらつしやる兵隊  
さんへお手紙を書きました。  
午後から御ふ所のおさうじをしまし  
た。おかもふきました。きれいになつたの  
で、お葉拾ひのおしづだひをしました。  
先生が、園師さんは、はたらきものだ、と  
はめていらつしやいました。

十一月八日火曜日  
今日は、大詔奉たい日です。朝會が  
あつて、お武がありました。  
一時間目に北支にいらつしやる兵隊  
さんへお手紙を書きました。  
午後から御ふ所のおさうじをしまし  
た。おかもふきました。きれいになつたの  
で、お葉拾ひのおしづだひをしました。  
先生が、園師さんは、はたらきものだ、と  
はめていらつしやいました。



七月九日 木曜日  
三時間目に水うえう所より少し  
行った所で、きれいな美しい富士山  
を見ました。ここへ来て殆ど見たの  
で、とてもうれいような気がしま  
した。又水うえうをうして、前野さ  
んが二番で、日下哥さんが  
三番で、船村さんが四番でした。  
とてもあったかくなりました。  
おさいほろの時、ポケットと、ひもの  
ぎれを切りました。



上手に書けました。が、ゆだんせずに書き  
つけなさい。

七月十日 金曜日

一時間目に算数のおしえがありました。  
なできたので、とてもうれいでした。

二時間目の図畫の時、もようをお出し  
しました。

三時間目に國語の書取をしました。  
た。つまちが、ついていたので、つまりません  
でした。でもとてもうれしく、たまり  
ませんでした。今度からがんばら  
うと思ひました。





十一月十二日 土曜日  
 國語の時、觀劇式を暗しゅうのお  
 けにこまいました。  
 算數の時途中で、出席のほう  
 の五番出て二つとおつしやったので、  
 高島さんがお出になられました。  
 体操の時、めい戰をしました。とても  
 おもひでした。  
 午後の五時、間自の作業の時、林  
 の中はいって、叔らいたなと思ふ、木  
 葉を二枚づつてんらゐ會をしまし  
 た。私は三等でした。

十一月十二日



今日は、待ちに待った楽しい面  
 會日。朝會の時、ちよ水池の方  
 までかけ足をしました。歸ってか  
 ら、八百谷さんと、圖師さんと、山口  
 先生と、有賀先生と、岩丸先生と、森  
 先生と、高橋さんと、高島さんと、船村  
 さんと、坂口さんと、野村さんと、船垣さ  
 んと、私とではだしになって、なは  
 どびをしました。  
 先生に呼ばれてはだしのまま行つ  
 て、「一部四年 柳野」徳面會に行つ  
 て参ります。といつてから急いで足を  
 洗って行きました。  
 今日はおねい様もいっしょでした。  
 すぐ女子學徒へ行つて、衣類のか  
 うかむをりてから、成績をお見せ



したりしました。  
 手とけ袋を二つと、お頼みしたものを  
 さいただきました。それから、今までの  
 出来事をみなお話ししました。  
 ハドンド・ドンドン。たいこの音。  
 急いで女學校を出て、行きました。  
 午後から又少し面會して、二時半  
 頃お別れしました。  
 それから荷物（もの）のせり（せり）をしました。



十一月十三日月曜日

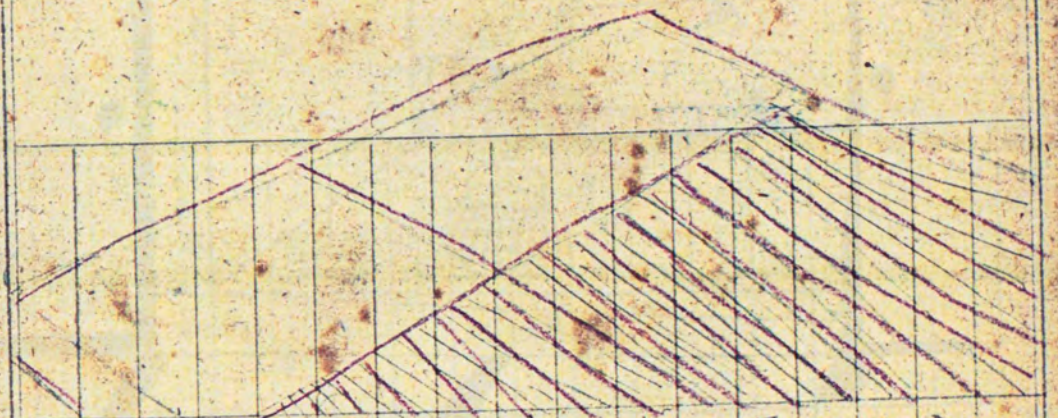
今日は午前中は小平分廠へたきぎ  
 とりに行きました。先生が「出きるた  
 け持って行きなさい」とおっしゃった  
 ので、なるたけ澤山持ちました。  
 ニ宮金次郎のやうに、たきぎをせお  
 ひ、國語であならひした觀艦式を暗  
 りうしながら行き、電柱の所事に  
 休みながらやつと疎開學園に着  
 きました。  
 お晝御飯がすんでから、おふと  
 んをほしに女學校へ行きました。  
 おやつはさつまいもでした。



十一月十四日火曜日  
 朝御飯がすんで朝會が終つてから  
 帽子とたすきを持って並びまし  
 た。さうしてはちぎたすき。あびの  
 三組になりました。さうして作戦  
 をお聞きして、さうく出かけると  
 見つからないやうにかくれまゐた。  
 決勝戦がすんでから攻へうを  
 お聞きしました。  
 おやつはパン半分とあいも一つで  
 した。



十一月十五日水曜日  
 今日も又分しやうへたきざりに行き  
 ました。六人なので、私は八百谷さんの分  
 もいっしょに持ちました。  
 とても重いので、休んでゐると、高田  
 先生が「早くいらっしゃい」と大聲であ  
 呼びになったので、急いでかけ出しました。  
 音くともう、おめえ汁や、御飯をつけ  
 てゐる最中でした。  
 午後から、水うえう所へ行つて、体  
 重をはかりました。はだかになつてお部  
 屋にはいらうとするど、弘田先生が  
 「ただ今から皇右陛下からいただい  
 た菊を舞みます」とおっしゃった。  
 体重は、ふへて、220になったとても  
 うれしかったです。

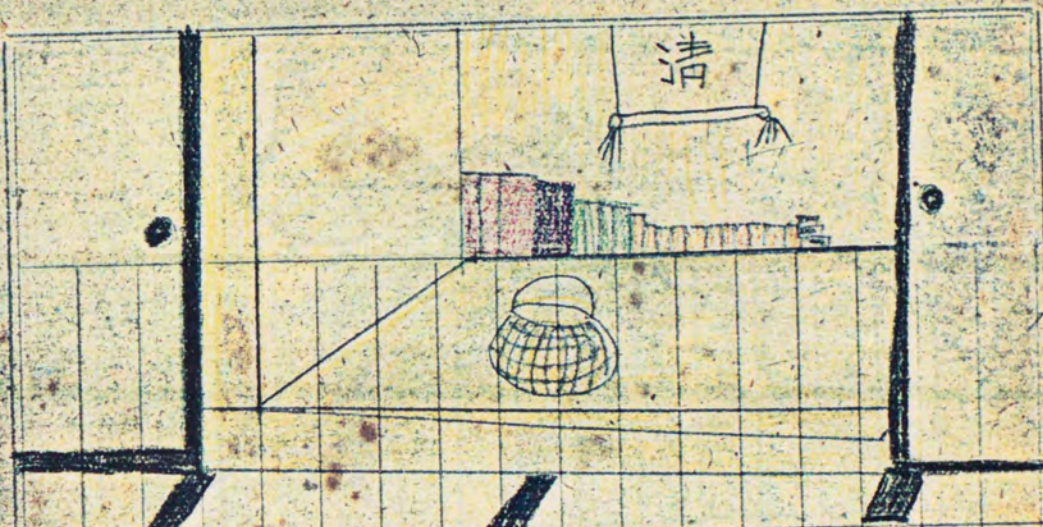


十一月十六日  
 今日はお天々なのでお部屋の中で授業をしました。  
 修身の時間にお話をお聞きました。  
 それに、自かうする事でした。  
 國語の時間に、觀艦式のおさひを  
 しました。  
 体操の時間は自習で、日記を書き  
 ました。  
 算数の時間にいろいろの問題だいの、  
 一、二、三、四、五、六番と十八ページの計  
 算数をしました。とてもむづかしい  
 のとやさしいのがありました。



十一月十七日  
 二時間目に、森先生に竹を切つてた  
 だいて、お箸を作りました。ふしの所が  
 なかなかけづれませんでした。  
 三時間目に、くりから谷を、文語文  
 を、口語文になほしました。  
 四時間目に、身長と、かげばうしを計  
 りました。身長が、メートルと二十四センチ  
 有ました。かげばうしは、二メートル四十六  
 センチでりました。  
 五時間目は、おさいほうで、前かけの、  
 両わきの、エリをりぐけをしました。か  
 たがわだけできました。  
 眠れ場所をかへました。

清



十二月十八日

今日は明日用意。お部屋、荷物、整頓をしました。それから、お度の秋葉かきをしました。

おれがすんでから、お学校へ行ってお湯に身を付けてかじみんでおるのをなほしました。

それからすぐお風呂につけました。

晩近藤先生に治療をしていただいた。てると、外の方から、今晚は、といふ聲が聞えて、「ガリ」とお窓があいて、なつがしい三輪田先生がいらして、いまは、喜んでお学校へ行つて有賀先生をお呼びしました。おる時まで日記を見ていただきました。

十二月十九日日曜日

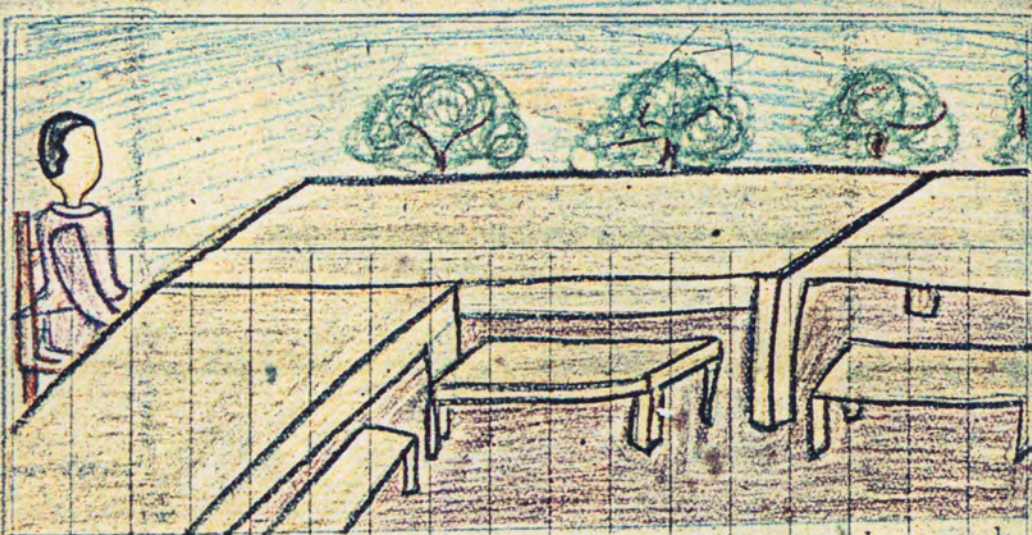
今日は待ちに待ったえんげい會です。朝から、胸がおどつてたまらない。

洗ひ當番がからへて来てから、お学校へ行つて水汲をしました。

朝會がすんでから、又水汲をしました。三年生お風呂よ。と呼びに来た時、教官室の所にお机がたくさん並べてありました。

ちらと見て見ると、一部四年のも二部三四年のお机もあります。お部屋の中にもおくの方に机がしきつめて、げき場が作られておました。だいたい色のまがかりました。

早くおしまらないかなと思ひました。午後松林へ朝會のやうに並び、三年生から順番にはいつて並びました。





いよいよ参りました。

1. 國民儀禮。2. 堀先生のお話。

3. 校長先生のお話。4. 太郎さん。(お話)

5. 紙芝居。(富士はほほえむ。花はゆるがす。6さいごうたかもり。7日本式さう)

(赤いおひがさ) 8き術(きりまはら) 9き術(おひのり) 9き術(きりまはら) 10き術(きりまはら) 11き術(きりまはら) 12き術(きりまはら)

13き術(きりまはら) 14き術(きりまはら) 15き術(きりまはら) 16き術(きりまはら) 17き術(きりまはら) 18き術(きりまはら)

19き術(きりまはら) 20き術(きりまはら) 21き術(きりまはら) 22き術(きりまはら) 23き術(きりまはら) 24き術(きりまはら)

25き術(きりまはら) 26き術(きりまはら) 27き術(きりまはら) 28き術(きりまはら) 29き術(きりまはら) 30き術(きりまはら)

31き術(きりまはら) 32き術(きりまはら) 33き術(きりまはら) 34き術(きりまはら) 35き術(きりまはら) 36き術(きりまはら)

37き術(きりまはら) 38き術(きりまはら) 39き術(きりまはら) 40き術(きりまはら) 41き術(きりまはら) 42き術(きりまはら)

43き術(きりまはら) 44き術(きりまはら) 45き術(きりまはら) 46き術(きりまはら) 47き術(きりまはら) 48き術(きりまはら)

49き術(きりまはら) 50き術(きりまはら) 51き術(きりまはら) 52き術(きりまはら) 53き術(きりまはら) 54き術(きりまはら)

55き術(きりまはら) 56き術(きりまはら) 57き術(きりまはら) 58き術(きりまはら) 59き術(きりまはら) 60き術(きりまはら)

61き術(きりまはら) 62き術(きりまはら) 63き術(きりまはら) 64き術(きりまはら) 65き術(きりまはら) 66き術(きりまはら)

67き術(きりまはら) 68き術(きりまはら) 69き術(きりまはら) 70き術(きりまはら) 71き術(きりまはら) 72き術(きりまはら)

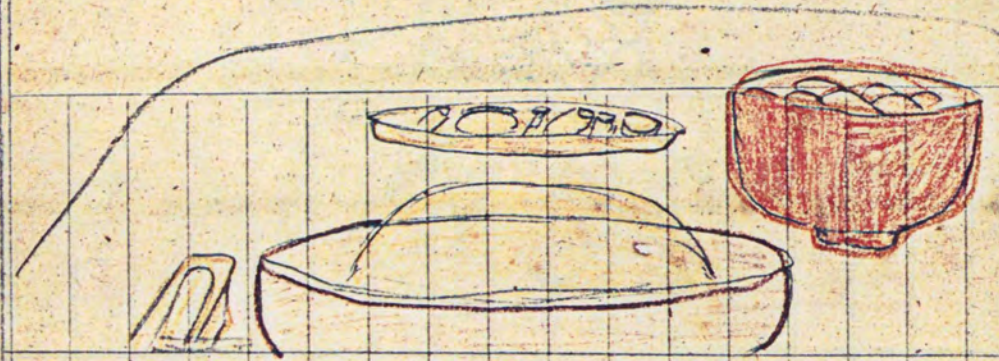
73き術(きりまはら) 74き術(きりまはら) 75き術(きりまはら) 76き術(きりまはら) 77き術(きりまはら) 78き術(きりまはら)

79き術(きりまはら) 80き術(きりまはら) 81き術(きりまはら) 82き術(きりまはら) 83き術(きりまはら) 84き術(きりまはら)

85き術(きりまはら) 86き術(きりまはら) 87き術(きりまはら) 88き術(きりまはら) 89き術(きりまはら) 90き術(きりまはら)

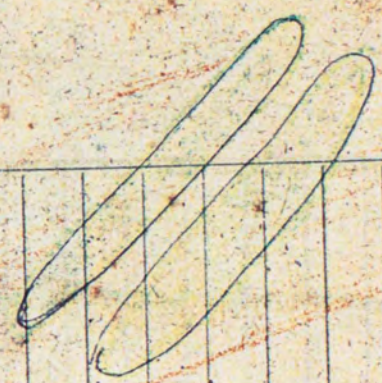
91き術(きりまはら) 92き術(きりまはら) 93き術(きりまはら) 94き術(きりまはら) 95き術(きりまはら) 96き術(きりまはら)

97き術(きりまはら) 98き術(きりまはら) 99き術(きりまはら) 100き術(きりまはら)



一番おも白かったのは、豊年 おどり、石田先生のき術でした。

晩御飯は、おいしいおいしいおすりでしたのりまきが五つてかっぱしらが一つで、ごぼうにんじん。里のものにつけて、御飯でした。とてもおなかかすいたので、みんなたひらげてしまひました。



十一月二十日月曜日  
楽しい面白かったえんげい會もすんで今日から又新しい。  
修身の時間に三年生の所へ行つて十三つふの米といふ所をしました。私は御飯がとても有がたいと思ひました。  
四時間目に、おひも洗ひをしました。五時間目にはおはしりつづきをしました。どうにか出きあがりました。

十二月二十一日

國語の時間にひよどり越をおならひしました。文語世文でした。  
音楽の時間には、野菊をおならひしました。

午後から、すすきを取りに行きました。線ちをこえて、分廠へ行きました。手にいはい持って、手さげ袋に入れました。船垣さんと岩田さんと知とでもしました。かっつみから、少づつたばにもしました。





十二月二十二日 水曜日

今日は行軍です。朝なみなかたいこが鳴らないので早く起きました。

朝飯がすんでから、おべんとうをつめて下しました。おがずは、梅干二つでした。いよいよ出発です。並んで人員を報告。こくして門を歩調をとって出ました。

八坂神社に拜禮して、次の神社へ行く途中に塚攻國民學校がありました。先におまわりして、そこで休けいしました。とても富士山が美しくきれいに見えました。国に行ってお食事をしました。下を見たら、線路があつて、多摩川電車が通りました。

かへつて来るとみなおせんたくをして、いらしゃいました。

十二月二十三日 水曜日

今日新嘗祭で三・五年の面會の日です。朝會がすんでから、つな引きをしました。白が三回とも勝ちました。とてもくやしかったです。

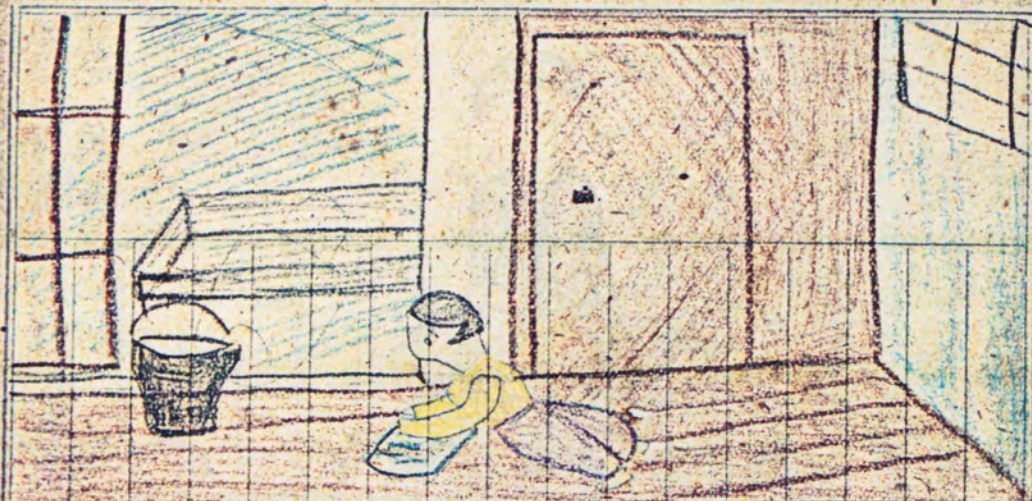
日のあたる所へおいすを持って行って、日記やお手紙を書きました。午後からおせんたくをしました。それから、又日記を書きました。

おやつはさつまいもでしたとてもおいしかったです。晩あみものをしました。





十二月二十四日 金曜日  
 今日は午前中分りゆうにたきざとりに  
 行きました。いつも行く分りゆうへ行  
 くとたきざがないので、女學校のおとな  
 りの分りゆうに行きました。林の中には  
 いて、枯木を拾ひました。出る時、垣根  
 をくぐって出ました。  
 歸りに「ホー」といふけたたましいサイ  
 レン走って歸り、すぐ防空服さうをま  
 しました。もう高嶋さんと八百谷さんと  
 高橋さんとで、いすが運ばれておました  
 少しすると、空しゅうげいほうがはつた  
 いさ北ました。三時頃かじじよになったの  
 で、お昼飯をいただきました。晩御飯は  
 せっまいもでした。女學校へかへるとき  
 けいかいけいほうかかじじよになりました。  
 ねる時防空服さうをりろへてねました。



十一月二十五日 土曜日  
 朝起きてみけぶとんをつんで、岩田さ  
 んののどころへ行くところ番下の山田  
 さんふとんの間で、「ターキー」のいっすお  
 ました。ねこがぬるとわかりました。  
 無いて、土をふとんをおろして、ねこを出  
 しました。それから又おきゅうをこしまし  
 た。あまり大きな聲で、「ギヤッ」といっ  
 たのび、聲がふれてしまひました。  
 お廊下のおさうじがすんでから行き  
 ました。

十一月二十六日日

今日は待ちに待った面會日。

朝なみながたいこがならないので、  
高田先生について、起きさせていたいただきま  
した。

なかなか洋服に着かへても、た  
いこがならないので、荷物のせいを  
しました。するとたいこがなったので、  
すぐ顔洗ひに行きました。

いよいよ面會です。先生に呼ばれて  
すぐに行きました。お母様とお姉様  
でした。主事先生に御愛さつをもら  
て、女學校へ行き、しつをかへました。  
お姉様に手袋をおんていただきまし  
た。もう水曜日から工場へ勤員され  
てあへないのでよくかほを見て別れ  
ました。



十一月二十七日月曜日



一時間目は修身の時間に、明  
治天皇の御徳といふ所をお習  
ひしました。思つてゐた事よりも  
とおえらかった人だなと思ひま  
した。二時間目に入まんじりの歌を  
お習ひしました。三時間目に雨にな  
ったので、岩文先生に、木村重成のお  
話をお聞きしました。とてもえりい  
人だなと思ひました。  
お晝御飯をいただきつゝのゑとげけ  
かけけいほう發令。とおしやいました。  
お晝御飯を口にはいれ、  
いそいでいただきました。お腹の中は  
御飯の運動會です。房空ごうの  
まはりにはばらくのましましたが、雨が  
ふつてゐるので、ごうの中へはいり

ました。すぐあやとりをしたり、あみ  
ものをしました。少しすると空もゆ  
うになりました。高砲の音がすぐ  
そばに聞えました。  
しばらくしてかいじよになり、けいかい  
けいほうもかいじよになりました。



十一月二十八日 火曜日

國語の時にまんじりの姫をお  
習ひしました。かはいさうなにもかも面  
白なお話でした。算数の時に土の  
曜日にした算数のしけんをかへ  
ていたたきました。百点だったので  
とてもうれしかったです。今度かもしつか  
りしえうと思ひました。

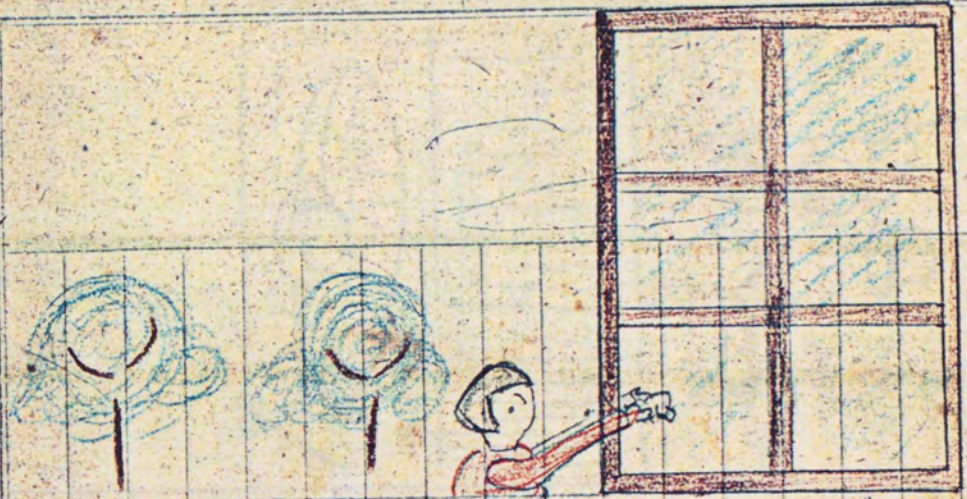
栗拾

音楽の時に、野榮と開校記念  
日のお歌をお習ひしました。  
明日歌ふので、しっかりおぼえま  
した。

お習字の時に、ここへ来て、始め  
て、すみでお習字をしました。いも  
掘栗拾ひをお習ひしました。  
先生にお手本を書わっていただき  
ました。



始めてしたのでうまく書けませんでした。  
 いた。作業の時に、一班は本部の  
 御不浄のおさうじをなさいました。  
 野村さんと日下部さんとで、尹學  
 校の御不浄のおさうじをなさいまし  
 た。私と園師さんとで、尹學校の窓  
 をふきました。それから、ぬまさんと  
 ふとんを取りこめました。



十一月二十九日 水曜日

今日は開校記念日です。

朝會の前に衣類のお荷物を入れか  
 へました。

一時間目に開校記念式をしまし  
 た。

二時間目は算數で先づめがの長  
 さをはかって、それから直方體を作り  
 ました。それはまだやりかけていた。

四時間目は國語で、綴方を書き  
 ました。私は面會日といふだいのを  
 書きました。

お風呂にはいりに女書學校へ行  
 きにいきます。岩丸先生がなかし  
 ておくれ。とおっしゃったのでかへま  
 した。もうふをかいてぬめせてあげまし  
 た。





「今日の晩にお話をしてあげる。」  
とおっしゃったのでうれしかった。  
それからおふちへはいった。岩田さんと  
はいった。  
夜中に空しゅうになりました。



十二月三十日木曜日

昨日くうしゅうでよくねうれなか  
ったのでお時までねました。

もう五六年が来てみました。

お機業もふつうにありました。

おさつほうもありました三打ぐけ  
をしました。

それがおすんでからすぐ御飯でした。

一時間目は修身で、昨夜のお話をし  
て下さって、木村魚成のお話をし

て下さいました。又一さうえらい人だと  
いふ事がわかりました。

三時間目に、孫悟空のおもろいお  
もいのお話をしていたきました。

晩今日もあるといけないたので、くら  
がりでもいつでも服さうができるや  
うにきちんと枕もとにおいてから

ねました。

高田先生にお話を讀んでいただき  
ました。

今日はとてもおつ一日だと思ひまし  
た。  
十二月からも又しっかりやうと思ひ  
ました。

